

■質問

「戻し曲げモーメントによる基礎梁せん断力を杭設計用軸力に考慮する。」方法を、教えてください。

■回答

[設定方法]

「共通計算条件」ダイアログにおいて曲げ戻しせん断力の考慮「する」を選択します。(下図参照)

[軸力算定方法]

曲げ戻しせん断力の考慮しない場合の軸力に 杭曲戻し時応力図の支点反力を加えます。

(下図参照)

[「共通計算条件」ダイアログ]

共通計算条件 - 杭基礎全般

杭基礎 計算方法     荷重等計算条件

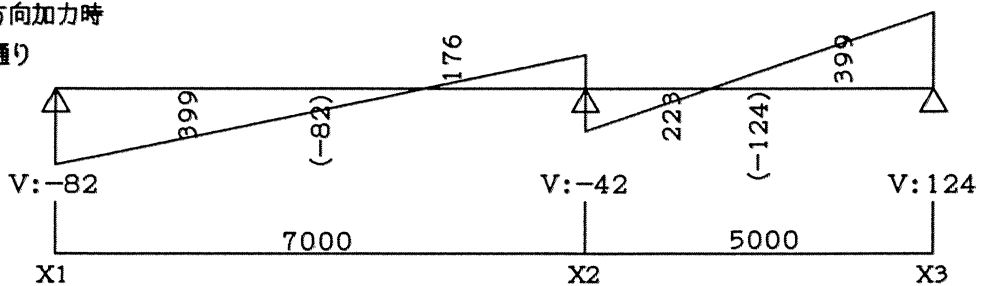
基礎形式等  
 基礎形式     コンクリートの打設状態  無水     水中  
 杭種     杭頭位置と基礎梁芯とのレベル差 (mm)   
 設計指針   
 工法

計算項目  
 引抜き計算                     計算する     計算しない  
 杭の水平抵抗計算             計算する     計算しない  
 曲げ戻しせん断力の軸力考慮  しない     する    (設定部分)

6. 3. 2 杭曲戻し時応力図

地震X正方向加力時

Y1通り



12. 4. 2. 2 設計用短期軸力

軸一軸	設計用 長期軸力 NL (kN)	地震時軸力 (kN)	
		X方向	Y方向
Y1-X1		-217.9 217.9	
Y1-X2		-108.3 108.3	
Y1-X3		328.7 -328.7	

[考慮しない場合]

軸一軸	設計用 長期軸力 NL (kN)	地震時軸力 (kN)	
		X方向	Y方向
Y1-X1	*1	-299.9 299.9	
Y1-X2	*2	-150.3 150.3	
Y1-X3	*3	452.7 -452.7	

[考慮する場合]

\*1 299.9 = 217.9 + 82.0  
 \*2 150.3 = 108.3 + 42.0  
 \*3 452.7 = 328.7 + 124.0